

平成25年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成26年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	条例に記載の通り（市内80クラブ）		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない児童。原則として小学3年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童等の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図ること 遊びの活動への意欲と態度の形成を図ること 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図ること 保護者の子育ての支援を図ること</p>
運営組織	<p>【職員配置】 ＜正規指導員＞ 嘱託職員 各クラブ2名 ＜臨時指導員＞ 加配指導員、フリー指導員、土曜登録指導員、日々代替指導員、土曜短時間登録指導員、短時間登録指導員</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 質の高い人材を育成するための計画的な研修の実施 広く人材を確保するための職員の公募、厳正な選考及び採用前研修 実習生や職場体験の積極的な受け入れ</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 子どもの発達の特徴をふまえた、個々の実際に即した援助 小学校・ふれあいスクール・民生児童委員等、様々な地域の関係機関と密接に連携をとり、地域全体で課題を解決 子どもと保護者の立場に立った、障がい児の入会希望の受け入れ 小学校・地域の専門機関等との連携や研修会による障がい児の支援の向上</p> <p>【利用促進への考え方及び内容】 学校や地域に向けた、積極的な情報発信 地域行事への積極的な参加</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 要望や苦情は積極的に聞き、取り入れるべき内容は事業に反映する。 ＜苦情解決の方法＞ 面接、電話、書面などによる苦情の受け付け 苦情の報告書へのまとめ、担当者と責任者による内容確認 必要に応じ第三者委員会による内容確認 解決に向けた話し合い</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	B	目標を達成し、活動内容を各々クラブで工夫して行った
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	1人ひとりに合った対応を行った	B	障がいを理由に断ることなく対応した
	緊急時の適切な対応	災害・疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	B	インフルエンザなどの臨時休校に全て対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 年30回以上	80回開催	B	ふれあいスクールとの連携が盛んなクラブがある
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	B	目標を達成した
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力励行	B	縮減に努めた
業 務	情報の共有	指導員のミーティングの励行	全てのクラブで毎日実施	A	毎日、指導員の職種に関わらず、児童の様子を情報共有した
	防災対策の徹底	避難訓練の実施 年1回以上	全クラブ年2回以上実施	B	目標を達成した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	事務研修年2回実施	B	目標を達成した
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検実施	A	定期点検を行い、事故を未然に防止するための点検を実施した
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	指導員の配置 2人以上	全クラブ2人以上配置	B	適正に配置した
	指導員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年2回開催 その他グループ別、職種別研修等を開催	A	研修を計画的に実施するとともに、県主催等の研修への参加を促した
	指導員の健康管理	定期健康診断及び保菌検査の実施 各年1回以上	定期健康診断年1回 保菌検査年11回	A	メンタルヘルス研修を行う等指導員の健康管理の配慮に努めた

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成25年度も、各クラブで児童の健全育成及び保護者の子育て支援に努めるとともに指導員の更なる資質向上を目指して多様な研修を実施した。

「ひまわりクラブ指定管理」第3期目を終了するにあたり、節目の年と位置付けクラブ運営面で大きな改善を図った。全体では「社協ならではのひまわりクラブ」を推進すべく安全・安心できるクラブ運営を目指し「危機管理マニュアル」や「保健衛生マニュアル」の見直しを図るとともに、指導員自身の役割と、日々の指針を明確にするため「指導員の手引き」の全文改訂を図り、指導員及びクラブ運営のレベルアップを図った。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

新潟市社会福祉協議会は、ひまわりクラブの指定管理は、第3期目(平成23年4月～平成26年3月)となり、継続してひまわりクラブを「生活の場」としている児童の健全育成と、仕事と子育てを両立する保護者の支援という役割を担い、女性の就業率の拡大や核家族化を背景に、待機児童を出さず市民の信頼を得ながら事業を拡大させ、平成25年度では80クラブ、102施設(登録児童数は5,902人(H25.5現在))を管理運営することとなった。

各クラブには、資格や経験のある指導員を配置し、指導員の更なる資質向上を目指して多様な研修を実施した。指導員の構成する運営委員会においては、新潟市全域におけるひまわりクラブの活動内容の統一を図るため、児童及び保護者、地域、学校に対する対応についてや、各クラブの活動状況の検証を定期的に行った。

施設の管理については、管理運営費の縮減を図りながらも、児童が長時間過ごすための環境づくりを考慮し、施設・設備の維持管理、衛生管理を行った。また児童が安心安全に過ごせるための事故防止対策や緊急時体制を整えた。

総合して良好な施設運営を行っており、指定管理者として優良と評価する。